

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5\_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-2\_文化芸術の振興と歴史文化の継承

基本計画		事業番号	細事業名称
5-02-01	文化芸術活動の推進	06199_01	別子山地区産業文化祭開催事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10144_01	文化施設環境整備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10335_01	文化芸術振興事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10479_06	総合文化施設充実事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10502_01	総合文化施設環境整備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10512_01	新居浜市文化祭事業補助金
5-02-01	文化芸術活動の推進	10623_01	新市民文化センター建設準備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10644_01	あかがねミュージアム開館10周年準備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10644_02	あかがねミュージアム360°シアター改修事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	02556_01	市史編さん事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10255_01	文化財保護事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10255_02	市指定文化財保存事業補助金

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06199_01			
事業名(行目名称)		別子山地区産業文化祭開催費	細事業名	別子山地区産業文化祭開催事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	別子山支所				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区地域住民等		数値	150人			
	手段(どうやって)	別子校区産業文化祭のうち産業の部においては、農林産物の展示、即売を実施する。文化の部においては、絵画、書道、写真、手芸品等の作品を展示する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子校区産業文化祭は、農林産物の展示、即売など各種の催し物を通じて生産者の意欲の向上を図るとともに、文化祭を通じて地域住民のつながりを深める。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		250	250	250	250	○委託料 250千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	250	250	250	250			
一般財源		0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
来場入場者数(人)			目標値	200	200	150	150	150
			実績	150	151	0	150	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
高齢化及び世帯数減少が著しいので、自治会が主催する出店の数は限られていること、また農林産物を出す人々は高齢者が多い。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
別子山地区で多くの人が集まり楽しむ機会があまりないことや、例年別子山の人口以上の来場者も来ており、自治会員も文化祭頑張るぞという熱意もあるので、現状維持で事業を行いたい。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
別子山地域が一体となって取り組むことにより、地域の活性化に寄与する事ができた。また農産物の一部については、学校に寄附することで、学校と地域との関係が深くなった。住民満足度も高いと感じられたので、現状通り、事業を実施したい。								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10144_01			
事業名(行目名称)		文化施設環境整備事業	細事業名	文化施設環境整備事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民	数値	113466				
	手段(どうやって)	建物及び設備の改修、備品の整備						
	目的(どんな状態にしたいのか)	施設修繕等を行い、適正な施設の管理運営を図り、文化施設を利用する市民の利便性の向上や快適な使用環境の提供を図る。また、施設の不備による臨時の休館がないよう適正な管理をしていく。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		24,366	20,420	20,420	20,419	○需用費 4,454千円 ○委託料 1,496千円 ○使用料及び賃借料 14,470千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		24,366	20,420	20,420	20,419			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
工事修繕件数			目標値	1	4	1	5	4
			実績	1	4	1	5	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>施設が老朽化していることから、利用者の安全性を図るためにも施設修繕は必要である。しかしながら、市民文化センター本館については、令和9年度に目標耐用年数を迎え、閉館を予定していることから、費用対効果を考え大規模な改修は行わず、早急な対応が可能な施設修繕費で対応を行っていく。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>耐用年数を勘案した費用対効果を考慮する必要があるものの、緊急性を伴う修繕が多く、柔軟な対応が求められる。適切な施設管理を行うため、引き続き予算要望を行う。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
<p>市民が少しでも良い環境で文化芸術活動が行えるよう、設備、備品等の更新を行った。今後の環境整備については、使用目標年数まで残り3年余りとなり、費用対効果を考慮すると、大規模工事ではなく修繕での対応が妥当であると考え。老朽化が進んでいることもあり、突発的な故障、損傷の発生回数が増加していることから、早急に対応できるような修繕費の確保が必要である。</p>								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10335_01			
事業名(行目名称)		文化芸術振興費	細事業名	文化芸術振興事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	120351			
	手段(どうやって)	子どもが芸術活動を体験できるよう、芸術文化プログラム等を開催する。また、ホールの活用を図ると同時に、多くの市民が身近な地域で芸術に触れる機会を提供する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民が芸術公演を体験し、また、子ども達も身近な地域で体験することにより、豊かな時間を共有する。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		2,039	1,731	1,731	1,682	○職員手当等 83千円 ○需用費 58千円 ○委託料 1,590千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		2,039	1,731	1,731	1,682			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
文化公演事業数(アウトリーチ含む)			目標値	13	10	10	10	10
			実績	7	10	2	13	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>「こどもふるさと写生大会」や「芸術文化プログラム」を実施し、子ども達が身近な地域で芸術に触れ、創作を行う機会を提供するとともに、優れた芸術を体験する事業が実施できている。予め学校行事を把握し、学校行事に重ならないよう実施時期を調整する。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>市民、特に小・中学生に文化芸術に触れる機会を提供し、心豊かに成長できる街づくりを目指す。さらに、レベルの高い芸術活動や真摯な眼差しに触れ、芸術の素晴らしさや自分の想いを表現することの大切さを学ぶ。希望校に偏ることなく実施できるよう調整し、予算要望は引き続き行う。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>「芸術文化プログラム」では、瀬戸フィルハーモニー交響楽団や、マリンバ演奏の野木青依さん、篠笛奏者の阿部一成さん等のプロの演奏者を、市内小中学校に派遣し、子ども達に文化芸術に触れる機会を提供したり、新居浜文化協会が中心となり、「こどもふるさと写生大会」を実施し、子どもたちが芸術文化活動に参加できる機会が創出できた。また、隔年で開催している「新居浜市郷土芸能発表会」を開催し、市内の各地域で伝えられてきた郷土芸能を、後世への保存・伝承に貢献できた。</p>								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10479_06
事業名(行目名称)		総合文化施設充実費		細事業名	総合文化施設充実事業	
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承	
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	文化振興課	
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	113466
	手段(どうやって)	新居浜市美術館で、企画展、コレクション展を開催する。あかがね座、創作スペースを活用してイベント、ワークショップを実施する。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市内外にあかがねミュージアムについて発信し、あかがねミュージアムを知ってもらおう。また新居浜市民の文化力の向上を図る。				
III 投入費用						
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		40,096	50,708	50,708	49,523	○職員手当等 497千円 ○報償費 100千円 ○旅費 1,390千円 ○役員費 100千円 ○委託料 39,101千円 ○使用料及び賃借料 20千円 ○負担金補助及び交付金 9,500千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	40,096	50,708	50,708	49,523	
	一般財源	0	0	0	0	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度
展覧会回数			目標値	5	4	4
			実績	6	4	2
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			高い
令和6年度に予定していた展覧会は計画通り開催できている。春季特別展「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」は、産業革命後にイギリスで起こった「アーツ・アンド・クラフツ運動」の展開を170点の作品を通じて紹介。同運動の影響を受けたとされる日暮別邸や建築家・野口孫市の足跡に着目した新居浜独自の展示も行い、県内外から多くの来場があった。夏季特別展では、日本を代表する現代彫刻家、三沢厚彦氏の木彫作品を展示。動物をテーマにしたダイナミックな作品の数々が並び、親子連れや美術ファンなどに好評だった。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止			
指定管理業務に含め、これまで以上に市民が美術表現に触れる機会を増やし、美術文化の創造と発展につなげる。						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
当初予定していた「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」、「三沢厚彦 ANIMALS IN NIJIMA」、「手塚治虫展」、「新居浜の美術コレクション展」は、全て無事開催することができた。良質な美術作品から多彩なジャンルを取り上げることで、美術ファンのみならず、幅広い年齢層の人に美術館に足を運んでもらうきっかけとなった。						

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10502_01		
事業名(行目名称)		総合文化施設環境整備事業	細事業名	総合文化施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113466			
	手段(どうやって)	利用者から特に要望の多い設備の設置や、来館者の安全性を確保するため施設の一部を修繕する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	来館者の安全性の確保及び利便性向上					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○需用費 5,961千円	
経費		8,880	5,961	5,961	4,939		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	5,961	5,961	4,939		
	一般財源	8,880	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
工事・修繕実施回数		目標値	2	5	8	8	7
		実績	2	5	0	8	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
消防設備に不具合が生じ、早急に対応する必要があることから、財政課と協議の上、予定していた銅板屋根ライトアップの照明器具交換を取りやめて、消防設備の修繕を行うこととした。修繕の実施については、9月までは展覧会を開催していたため、10月以降とする。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
開館10年を前に、突発的な故障や部品の生産中止等が相次ぎ、修繕や部品交換が必要となるケースが増えている。機器更新などの大掛かりな修繕も必要となっているため、順次、計画的に対応に当たる必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
開館10年を迎え、施設の修繕箇所が増えている。まだ壊れてはいないが、メーカー推奨更新時期の超過、部品の製造中止などの予防的な意味合い修繕事例が多い。令和8年度分と、令和8年から令和12年度の五か年計画の二本立てで予算を確保し、建築住宅課と協議の上、緊急性の高いものから優先順位をつけて計画的に修繕をしていく必要がある。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10512_01		
事業名(行目名称)		新居浜市文化祭事業推進費	細事業名	新居浜市文化祭事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	114,886人(R5.3.31現在)			
	手段(どうやって)	公民館もしくは小・中学校体育館等を使用し、文化祭を開催する。 ・児童・生徒の作品展示 ・公民館サークルおよび単位自治会の作品展示 ・地域各種団体によるバザー・作品展示等					
	目的(どんな状態にしたいのか)	公民館を中心として文化祭を開催することにより、市民の文化性および協調性を高め、今後より一層の地域交流の向上を目的とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 954千円	
経費		705	954	954	911		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	705	954	954	911		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
文化祭来場者数(人)		目標値	116052	114886	113466	113466	
		実績	7974	16318	0	20181	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和6年度実施予定の校区文化祭は、対象となっている15校区が、11月初旬から中旬にかけて、各校区(地区)の実情に応じ、工夫しながら実施予定となっている。小・中学校の児童・生徒の作品を中心に、公民館サークル、講座の作品展示や、地域各種団体のコーナー設置など、多世代にわたる地域住民の相互交流の場となるよう計画が進められている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
公民館を中心とした文化祭の実施は、多くの住民や世代が関わる良い機会となっており、市民の文化性及び協調性を高め、地域交流の向上を図る良い機会となっており、本事業を継続する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和6年度文化祭は、15校区(地区)において実施した。小中学校等の児童生徒の作品や地域各種団体の作品、公民館サークルや講座の作品などが展示され、多世代に渡る地域住民の相互交流の場となった。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10623_01		
事業名(行目名称)		新市民文化センター建設準備事業費		細事業名	新市民文化センター建設準備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	113466		
	手段(どうやって)	令和5年度に策定した基本計画を受け、民間活力導入可能性調査を行い、事業手法を検討するとともに、管理運営方針の策定に取り組む。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	民間活力導入可能性調査の実施、管理運営方針の策定により、コスト面や施設運営面において、従来方式よりも有効な事業手法を決定する。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○職員手当等 304千円 ○需用費 46千円 ○役務費 50千円 ○委託料 36,943千円		
経費		17,794	37,343	37,343	20,900			
財源	県・国支出金	0	0	9,900	9,900			
	地方債		0	0				
	その他	17,794	37,343	27,443	11,000			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
事業手法の決定及び管理運営方針の策定			目標値	1	1	0	1	1
			実績	1	1	0	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新市民文化センターの整備を行うため、民間活力導入可能性調査及び管理運営方針についての検討を行う。これにより、従来方式と比較してのコスト削減や、より良い施設運営方法を提案し、事業手法の決定を目指していく。 成果指標名については、令和5年度で基本計画の策定が完了したことから、事業手法の決定及び管理運営方針の策定に変更する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
令和6年度中に実施するPPP/PFI導入可能性調査の結果に基づき、事業手法を決定するとともに、事業者選定に係るアドバイザー契約等の予算要望を行う。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		B:事業の進め方の改善検討					
PPP/PFI導入可能性調査を実施し、管理運営方針(案)を作成した。 しかしながら、人口減少社会に直面している中では、改めて15年後、20年後の新居浜市の姿を想定した上で、立地や建物の規模、機能、財源等を検討し、施設の在り方やスケジュールについて、再検討する必要がある。								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10644_01	
事業名(行目名称)		あかがねミュージアム開館10周年準備事業		細事業名	あかがねミュージアム開館10周年準備事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承		
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	文化振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値		
	手段(どうやって)	令和7年に開館10周年を迎えることから、本市の観光の強みである別子銅山、新居浜太鼓祭り等の地域資源を中心とした最新技術による新たなコンテンツを制作し、新居浜市の歴史、風土、自然を伝え、新居浜らしさに触れる機会を創出する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜の観光や文化に触れることのできる施設とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			73,700	73,700	73,687	○委託料 73,700千円	
財源	県・国支出金	0	0	36,850	36,844		
	地方債		0	0			
	その他		73,700	36,850	36,843		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
コンテンツ制作		目標値			2	2	
		実績			1	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
最新技術による新たなコンテンツの制作に時間を要したが、計画どおり実行している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
別子銅山、新居浜太鼓祭り等の地域資源を中心とした最新技術によりコンテンツを制作した。令和7年3月末の実装となり、あかがねデジタルミュージアムのサービス提供期間は確保することができなかったが、令和7年度以降は市内外へあかがねデジタルミュージアムの広報に努めることにより周知を図り、リピーターを含めた参加者の増加につなげる必要がある。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10644_02	
事業名(行目名称)		あかがねミュージアム開館10周年準備事業		細事業名	あかがねミュージアム360°シアター改修事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承		
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	文化振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値		
	手段(どうやって)	平成27年の開館から既に8年が経過しており、映像音声機器等の不具合には交換、修繕の対応を行ってきたが、危機の老朽化や故障が著しい上、部品が製造中止等で入手困難となってきたことから、早期の大規模改修が必要である。合わせて、令和7年に開館10周年を迎えることから、360°シアターを見るだけでなく、交流や体験のできる場としての新たなコンテンツに対応した改修を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	現在、ふるさと観光大使である近藤勝也さんに政策していただいているアニメーションについても新たなコンテンツに対応できるようデジタル化処理を行い、来館者数の増加を見込む。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 37,840千円	
経費			37,840	37,840	37,840		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		34,000	34,000	34,000		
	その他		3,840	3,840	3,840		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
改修工事実施状況			目標値		1	1	
			実績		0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
開館から8年が経過しており、映像音声機器等の不具合には交換、修繕の対応を行ってきたが、危機の老朽化や故障が著しい上、部品が製造中止等で入手困難となってきたことから、早期の大規模改修が必要である。合わせて、令和7年に開館10周年を迎えることから、360°シアターを見るだけでなく、交流や体験のできる場としての新たなコンテンツに対応した改修を行う。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和7年度に、あかがねミュージアム開館10周年を迎えるにあたり、360°シアターを見るだけでなく、交流や体験のできる場としての新たなコンテンツに対応した改修や、現在、ふるさと観光大使である近藤勝也さんに制作していただいているアニメーションについても、新たなコンテンツに対応できるようデジタル化処理を行ったため、今後効果的な活用に取り組む。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	02556_01	
事業名(行目名称)		市史編さん事業費		細事業名	市史編さん事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承		
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承		担当課	市史編さん室		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民			数値	113466	
	手段(どうやって)	市史編さん基本方針及び刊行計画に基づき、本市の歴史に関する資料の収集、調査等を行い、市史を編さんする。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民が、新居浜市の歴史を学び、知ることにより、新居浜市に対する愛着や誇りを持つまちを目指す。また、市民の歴史的文化資産として歴史資料を後世に継承するとともに、新居浜市が将来進むべき方向を見極めるため、過去から現在を伝えるための正確な記録を残す。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		11,848	16,200	16,200	13,794	○報酬 4,467千円 ○職員手当等 974千円 ○共済費 853千円 ○報償費 2,973千円 ○旅費 1,407千円 ○需用費 852千円 ○役務費 81千円 ○委託料 3,915千円 ○使用料及び賃借料 633千円 ○備品購入費 45千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	11,848	16,200	16,200	13,794		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
A: 普及啓発事業の実施回数(講演会・調査報告書・ロビー展等)			目標値	4	4	4	4
B: 刊行数(令和7年度より)			実績	4	4	2	3
							A: 4 B: 1
							—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
市史編さん審議会、市史編集委員会、専門部会を開催し、その方針に基づき、調査、編集、執筆を進めている。 近世以降については史料が多くなり、調査体制及び人材体制の充実を行っていかなければならない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
令和7年度以降、刊行計画に基づく市史を刊行するため、刊行に係る予算を確保する必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
市史編さん基本方針及び刊行計画に基づき、各専門部会(古代・中世、近世、近代・現代、太鼓台)において、市史の刊行に向けた資料の調査、収集等を実施した。また、歴史講演会の開催、市役所及び図書館でのロビー展の実施により、市民の郷土の歴史への理解を深めた。今後も引き続き取組を進め、市史各編を順次刊行していく。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10255_01	
事業名(行目名称)		文化財保護費	細事業名	文化財保護事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	120351		
	手段(どうやって)	(1)開発業者等からの土木工事等の予定場所が周知の埋蔵文化財包蔵地であるか否かの照会に対し、適切な対応を指導する。 (2)文化財所有者等から所有する文化財の保存について相談があった場合に、適切な助言を行う。 (3)文化財に関する所有者や開発業者からの多様な質問に対し、適切な対応がとれる体制を整備するため、職員の資質向上のための研修に積極的に参加する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	(1)指定文化財については、所有者等からその適切な保存のために相談があったときに専門的な立場から助言を行うほか、修理等が必要な場合にはその方法を指導し、必要な場合は財源確保のためのアドバイスを行うことにより文化財の適切な保存と活用を図っていく。 (2)埋蔵文化財については、公共事業に伴う発掘調査の計画をなるべく早期に把握し、調査体制の充実を図る。民間開発についてはいつどの程度の規模の調査が発生するか予測できないため困難ではあるが、公共事業に伴う調査については事業課に直接照会依頼を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		435	1,239	1,239	433	○報償費 297千円 ○旅費 45千円 ○需用費 138千円 ○委託料 231千円 ○使用料及び賃借料 528千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	435	1,239	1,239	433		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
文化財指定登録件数		目標値	110	110	112	112	111
		実績	110	109	112	111	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
埋蔵文化財について、所有者や事業者等への適切な指導を行っている。 成果指標実績件数の増加は、新たに登録有形文化財3件が国に登録されたためである。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
埋蔵文化財及び指定文化財の適切な保存を行うためにも予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
県指定文化財(個人所有)が売却により、件数が1件減少した。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10255_02	
事業名(行目名称)		文化財保護費	細事業名	市指定文化財保存事業補助金		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承		
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	担当課	文化振興課		
II 事務事業の実施概要						
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	全市民	数値	120351		
	手 段 (どうやって)	文化財の所有者(管理者)に補助金を支出し、適正な補修、維持管理を行ってもらう。				
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	市指定文化財である「久具屋敷」を将来にわたって適正に維持していく。				
III 投入費用						
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		249	311	311	242	
財 源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	249	311	311	242	
○負担金補助及び交付金 311千円						
IV 指 標						
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度
補助実施率		目標値	100	100	100	100
		実績	20	70	70	78
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			
<p>市指定文化財の適正な維持管理を行ってらっている。 年間を通しての維持管理のため、年度末に成果報告を受理後の補助金支出となる。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>貴重な文化財の保存にかかるものであり、適正な保存管理を行っていくためにも予算要望する。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>指定文化財の天然記念物「久具屋敷」について、補助金を交付することにより、適正な維持管理を行うことができた。</p>						